

# 「地元学」へようこそ

地元学は、地元学ぶことです。自分たちが暮らす地域のことを、ヨソ者(外部者)の目を借りて、いっしょに歩き、調べます。当たり前すぎて、気づかなかったことに気づいたり、新しい発見があると思います。見つけたことを地域で話し合い、これからの地域づくりを自分たちで考える、そのきっかけが地元学です。

どこかの誰かや、ヨソの誰かのためにやる学問ではありません。調べた人、参加した人だけが、地元のことにさらにくわしくなる、それが地元学です。

## ■地元学はみんなが参加

地元学が一番の先生は、地元で根ざして暮らしているおじいちゃん、おばあちゃん、農林漁業者や職人、そして、子ども達です。地元学の生徒は、住んでいても外に働きに出ている大人や若者です。みんながいっしょになって歩き、子どもの頃を思い出したり、発見したりしてください。外の地域の人や、学校の先生、専門家、NGOなど、ヨソ者(外部者)も、仲間に入れてください。



地元学(里地たんけん隊)の一例。上は、水源と生き物調査をしています(新潟県佐渡)、右は、小学生が大人たちとあるもの探しをしています(山形県最上町)。



ヨソ者は、地元の「ふつう」にびっくりすることがあります。それは、外から来た人の「ふつう」と違うからです。その違いこそが地域の個性になります。「なにもないはず」と思っても、きっとヨソ者がたくさんびっくりすることでしょう。地元には宝がたくさんみなさんを待っています。

# 地元学からはじまる環境政策・住民参加の地域づくりは、全国に広がっています

## 地元学発祥・熊本県水俣市

地元学の発祥地・水俣市では、地元学を通じて作られた地域資源カード、水の経路図、地域人材マップが市の姿を変えつつあります。市の総合計画、環境基本計画、地区環境協定、公共工事配慮指針、ISO14001、ごみの分別作業、エコショップ認定制度、環境マイスター制度などが生まれました。

## トキの野生復帰プロジェクト

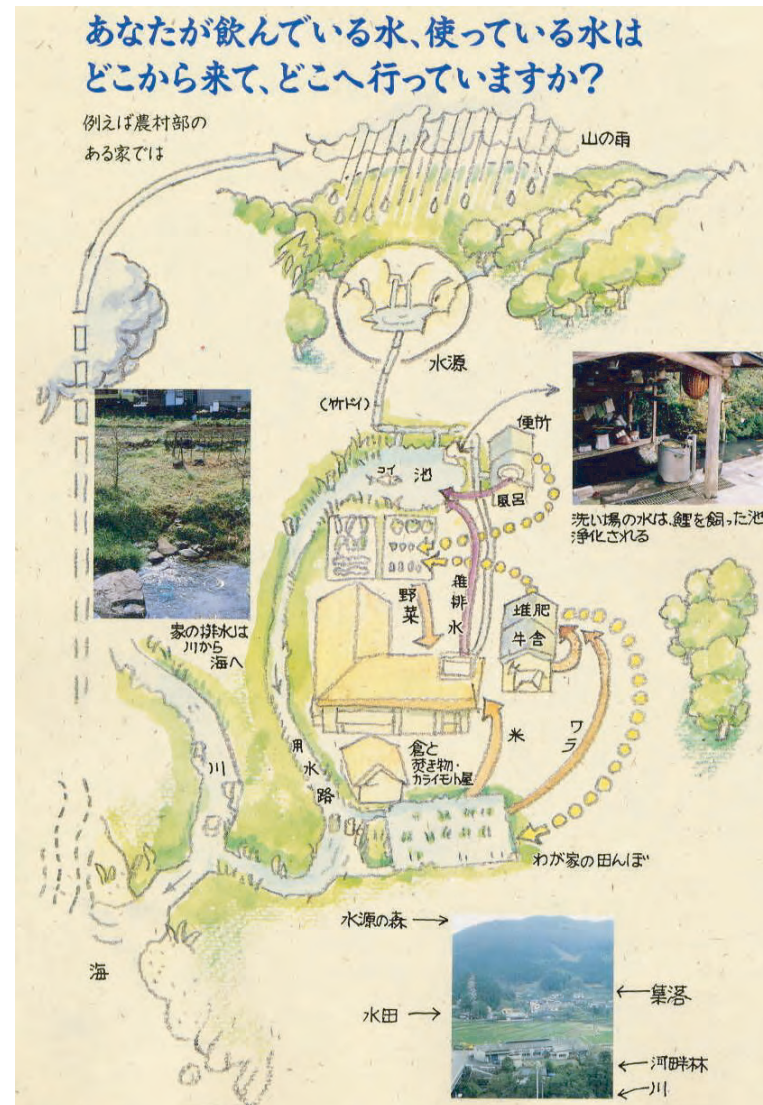
環境省は、トキの野生復帰を目指し「共生と循環の地域社会づくりモデル事業(佐渡地域)」を実施。かつてトキの生息していた地域を対象に、地元学の技法を用いた地域の見直し作業を行い、地域活動の活性化と生活文化の継承、環境学習や体験型ツーリズムの促進などトキと共生できる地域社会づくりが進んでいます。イラスト手引き書「里山ピオトープ」、地域ツーリズムガイド「野浦大百科」など取り組みの副産物もできました。

## 総合学習や学校活動

山形県最上町の満沢小学校では、地元学の技法を活かして、総合学習の体系を構築しています。新潟県両津市(佐渡)の両尾小学校では、祖父母から地域のことを聞く手法に地元学を行い、学校百周年記念誌づくりに結びつけました。

## 炭焼きの里になった愛知県美浜町

美浜町布土地域では、地元学を地域振興会で実施。発見した地域資源を地区住民と共有するために山芋掘りやキノコ取りのハイキングを行い、里山への関心を高めました。その後、竹林の整備、ドラム缶式竹炭窯の設置(字単位)、白炭窯の設置、竹炭を活用したさまざまな活動へと展開しています。愛知万博の里山サテライト会場予定地になりました。



地元学の提唱者、水俣市の吉本哲朗氏(左側)、古地図なども地元学の役に立ちます。

くわしくは、下記へお問い合わせください

■地元学の理念について  
 地元学協会  
 〒867-0116 水俣市薄原1163  
 e-mail lsom@orange.ocn.ne.jp

■地元学へのお問い合わせ、本リーフ制作・発行  
 (財)水と緑の感星保全機構 里地ネットワーク  
 TEL03-3500-3559 FAX03-3500-3841  
 e-mail QWS04137@nifty.ne.jp  
 http://member.nifty.ne.jp/satochi/